

FIA世界ラリー選手権(WRC)を いかした地域まちづくり事業

地域資源の価値を高め、「WRCのまち」豊田市をつくる

事業目的

2022年に12年ぶりに日本で開催されたWRCを2023年、2024年に引き続き、2025年以降も日本で継続開催できるよう豊田市が主催します。
また、「WRCのまち」のシティブランドを構築し、豊田市のまちづくりにいかします。

主な取組内容

- (1)関係者と共に豊田市が競技主催者となり、「FIA世界ラリー選手権 日本大会(WRC)」を開催します。
- (2)WRCをいかして、「山村振興」、「交通安全の推進」、「産業の振興」を図ります。
- (3)モータースポーツで鍛えられた車両の安全性や環境技術が市販車へ反映されることで、クルマの魅力向上へとつなげていきます。

〔事業担当者コメント〕

WRCは、FIA(国際自動車連盟)が主催している世界耐久選手権(WEC)、フォーミュラー1世界選手権(F1)と並ぶ3大モータースポーツのひとつで、50年の歴史を誇るラリー最高峰の大会です。愛知・岐阜での開催3年目となった2024年は、豊田スタジアムで2台同時走行となる特設の競技コースを設置し、大勢のお客様が日本中から集まりました。今後も豊田市での継続開催を目指し、「WRCのまち」として構築されれば、非常に価値の高い地域資源となります。一緒にWRCに深く関わって頂ける方のご支援をお待ちしています。

関連するSDGsゴール

8 働きがいも
経済成長も



11 住み続けられる
まちづくりを



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



ラリージャパン2024

〔本事業に関する問い合わせ〕

魅力創造部 ラリーまちづくり推進課

TEL : 0565-34-6950

MAIL : rally@city.toyota.aichi.jp